

特定小電力トランシーバー

VLM-850

同時通話方式

取扱説明書

防浸構造



お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

このトランシーバーは国内専用モデルです。
海外では使用できません。

●お願い

本体背面に貼り付けてある“証明ラベル”や“製造番号”を剥がしたり、“分解”や“改造”を行うことは、法律で禁止されています。

●アフターサービス

◎保証期間はご購入の日より1年です。

本製品には保証書が添付されています。ご購入いただいた日から1年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。

◎保証書は大切に保管してください。

保証書を紛失すると、保証期間中に発生した故障でも保証期間が経過したものととして有償扱いにさせていただきますのでご了承ください。

また、販売年月日・販売店名等の必要事項が記入してない保証書も無効扱いにさせていただきますので、ご購入いただきました販売店名・ご購入上げ年月日等が正しく記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

販売元・株式会社スタンダード

〒153-8645 東京都目黒区中目黒4-8-8

製造元・株式会社パーテックススタンダード

〒153-8644 東京都目黒区中目黒4-8-8



0708J-TK

防水 (JIS 保護等級7種防浸形相当) について

本機の防水性能は水深1mで30分間の水没に耐えることができます。
この防水性能を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

キズ、劣化、汚れなどの確認

キーのラバー、ヘッドセットケーブルを接続する端子、電池/バックの接合部分

お手入れのしかた

海水・砂・泥などがついたときは真水で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。

オーバーホールのお奨め

ご購入から1年経過した後、オーバーホールを行って1年経過した後、またはキズ、劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めます。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。

その他の注意

完全防水ではありませんので、水中での使用はできません。

付属品

- ◎ 急速充電器：VAC-850
- ◎ リチウムイオン電池/バック：FNB-77LI
- ◎ ベルトクリップ (取付ネジを含む)
- ◎ ヘッドセットケーブル：CT-59
- ◎ 保証書
- ◎ 取扱説明書 (本書)

定格 (性能向上のため予告なく変更することがあります)

- 送受信周波数：421MHz帯/440MHz帯 (12.5kHzステップ, 18チャンネル)
- 電波型式：F3E
- 通信方式：複信および半複信方式
- 送信出力：10mW以下/1mW以下 (電波法施行規則第6条適合)
- 受信感度：-5dBμ以下 (①2dB SINAD)
- 動作温度範囲：-10℃～+50℃
- 定格電圧：DC 3.7V
- 本体寸法：幅61×高さ82×奥行き21mm (電池/バックを含む, 突起部を含まず)
- 本体重量：約140g (電池/バックを含む)

オプション (カタログ等をご覧ください)

- ◎ 急速充電器 (付属品と同等)：VAC-850
- ◎ リチウムイオン電池/バック (付属品と同等)：FNB-77LI
- ◎ ヘッドセット：YH-105S
- ◎ 乾電池ケース：FBA-32

安全上のご注意 (必ずお読みください)

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。

- ⚠️ **危険** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
- ⚠️ **警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠️ **注意** 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- 🚫 行ってはならない禁止事項です (例①分解禁止)。
- ❗️ 必ず守っていただきたい注意事項です。

⚠️危険

- 🚫 自動車を運転しながら使用しない
事故の原因になります。
運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてからご使用ください。
- 🚫 航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では電源を切る
電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。
- 🚫 電池/バックから漏液して皮膚に付着したり、目に入ると危険
化学火傷を起こすおそれがあります。直ちに医者への診断を受けてください。
- 🚫 充電端子をはんだ付けやショートをしない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。
ネックレスやヘアピンなどと一緒には持ち運ばないでください。
- 🚫 火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。

⚠️警告

- 🚫 分解や改造をしない
本機は電波法に基づき無線局です。勝手な分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。
- ❗️ 当社指定以外の充電器を使用しない
火災や故障の原因になります。
- ❗️ 煙が出ている、変な臭いが出るときは電源スイッチを切る
火災や故障の原因になります。ご購入いただきました販売店またはお近くの営業所/サービスに修理をご依頼ください。

⚠️注意

- 🚫 指定以外のオプションを使用しない
ケガの原因になります。
また、本体の故障や破損の原因にもなります。
- 🚫 アンテナを持って、本体を振り回したり投げたりしない
本人や他人に当たり、ケガの原因になります。
また、本体の故障や破損の原因にもなります。
- 🚫 アンテナを折り曲げたりしない
アンテナの変形や破損の原因になります。
- 🚫 強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない
故障の原因になります。
- 🚫 電池/バックの充電温度範囲は5℃～35℃です
故障の原因になります。
- ❗️ 通話中、無理に音量を大きくしない
聴力障害の原因になることがあります。
- ❗️ 人の多い場所では使用しない
アンテナが他人に当たり、ケガの原因になります。
- ❗️ 使用後、海水・砂・泥等がついたまま放置しない
塩かみ砂かみの原因となり、正常に動作しないことがあります。
水道水または真水で洗い流し、柔らかい布で拭き取ってください。
- ❗️ 小さなお子さまの手の届かない場所に保管する
ケガなどの原因になります。

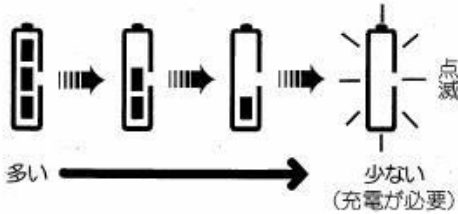
故障かな?と思うまえに...

間違った操作をしていませんか? 修理を依頼される前に、ちょっとお確かめください。

- ◎ 送信できない!
 - ・コールキーを正しく押していますか?
- ◎ 通話できない!
 - ・相手と同じチャンネルとグループ番号に設定していますか?
 - ・相手との距離が離れすぎていませんか?
- ◎ 電源が入らない、勝手に電源が切れる!
 - ・電池/バックは十分に充電してありますか?
 - ・電源端子が汚れていませんか?

電池パックの残量表示

電源が入っている間はディスプレイに電池/パックの残量を表示しますので、充電時期の目安にしてください。



電池パック使用可能時間の目安

電池持続時間 10 時間以上

電池パックの交換について

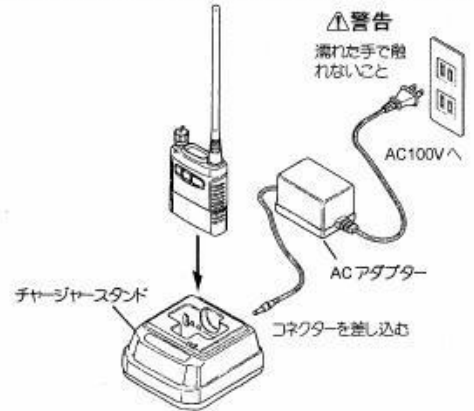
正常なご使用で約 300 回繰り返し使用できます。充電しても電池が早く切れるときは、寿命と考えられますので、お早めに新しい電池/パックと交換してください。電池/パックの交換方法は、下記を参照してください。



充電のしかた (約 1.5 時間充電)

充電器の取扱説明書もお読みください

- ① ACアダプターのコネクタをチャージャースタンドのジャックに差し込み、電源プラグをコンセント“AC100V”に接続します。
- ② トランシーバーをチャージャースタンドに差し込むと、チャージャースタンドのランプが赤色に点灯します。
 - 電池/パック単体でも充電することができます。
 - 充電をするときは必ずトランシーバーの電源を切ってから充電してください。
- ③ 充電が終了すると赤色のランプが緑色のランプに変わります。
 - 緑ランプ点灯後は補充電(トリクル充電)がスタートしますので、より完全に充電を行いたいときは継続して1~2時間補充電することをお勧めします。
 - すでに充電されている電池/パックを再度充電すると、瞬時(または短時間)に緑色のランプへかわることがあります。
 - 長時間(数日以上)補充電したままにしておくと、電池パックを劣化させることがあります。
- ④ 充電が終了したら、ACアダプターをコンセントから外してください。
 - ACアダプターを外すときは、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って抜いてください。



△電池パック単体で充電するときの注意

電極が上面に露出しますので、金属片などが触れてショートすることがないように、十分にご注意ください。

△充電時のご注意

- 周囲温度が 5℃~35℃以内で充電してください。
- お買い求めのとき、長期間使用しなかったときは充電してください。
- 充電中、テレビ等に雑音が入る場合、別のコンセントから電源を取ってください。

各部のなまえ

ディスプレイ



音量調節ツマミ (電源スイッチ付き)

コールキー

アンテナ

通話ランプ

モードキー

アップ(▲)キー

コールキー

電池パック

ヘッドセットケーブル
オプションのヘッドセットを接続するケーブルです。

通話のしかた

- ① 音量調節ツマミを右に回すと、電源が入ります。「ピポッ」と電子音が鳴ります。
- ② アップ(▲)キーを押し、相手と同じチャンネルに合わせます。チャンネルは“1”から“18”のなかから選びます。

キーを押すたびに 1+2+3...18
- ③ 相手と同じグループ番号に合わせます。
 - グループ番号は“01”から“99”のなかから選びます。
 - グループ番号を“00”にすると、同じグループ番号以外の通話も受信することができます(受信専用)。

2-01

↓

2-0

↓

2-11

↓

2-1

↓

2-12

 - モードキーを押すとグループ番号の十位が点滅します。
 - アップ(▲)キー(ダウンはコールキーを押す)を押して希望の番号にします。
 - モードキーを押すとグループ番号の一位が点滅します。
 - アップ(▲)キー(ダウンはコールキーを押す)を押して希望の番号にします。
 - モードキーを押します。
- ④ コールキーを押して相手を呼び出し通話します。「ブルブルルル・・・ブルブルルル・・・」と電子音が鳴って自動的につながり、通話ランプがオレンジ色に点灯します。
- ⑤ コールキーを長押しすると、通話を終了することができます。通話終了後、法令により2秒間はコールキーを押しても通話できません。

アドバイス：ヘッドセットのスピーカーから、次のような電子音で知らせます。

	電子音
電源を入れたとき	「ピポッ」
キーを押したとき	「ブッ」
呼び出すとき	「ブルブルルル・・・ブルブルルル・・・」
呼び出されたとき	「ピポポポ・・・ピポポポ・・・」
話し中のとき	「ブーッ、ブーッ・・・」
つながったとき	「ピッ」
つながらなかつたとき/誤動作したとき	「ピピピッ」

クリップ

胸もとのポケットなどに固定してください。

△注意

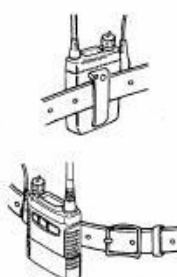
クリップを衣類にはさんだ状態で無理に引っ張ると、衣類が切れることがあります。



ベルトクリップ

付属のネジでベルトクリップを取り付けます。

ベルトにベルトクリップを通して確実に取り付けてください。



VLM-850の特殊な使用方法

VLM-850には、より高度な運用が行えるよう、以下に記す機能を備えています。

1対1同時通話(複信方式)

通話したい相手局のチャンネル番号とグループ番号を設定し、コールキーを短押しすると、携帯電話と同じ感覚で同時通話ができます。

通話方法

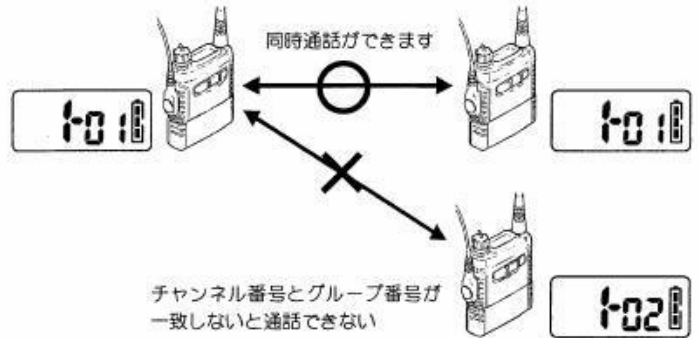
1. お互いのチャンネルとグループコードをあわせませす。
2. コールキーを短押しして発呼します。
3. 通話を終了したい場合はコールキーを長押し(1秒以上)します。

アドバイス:

- ・チャンネル番号とグループ番号が同一な無線機を、3台以上で通話することはできません。
- ・グループ番号00は受信専用のため通話できません。
- ・18ch仕様で運用している場合は、10mW(3分)/1mW(無制限)の切り替えが可能です(“送信出力の切り替え”参照)。

通話(例)

チャンネル番号1とグループ番号01に設定した通話例



FDM-350Bと通話する場合

FDM-350Bと1対1同時通話(複信)を行なう場合は、VLM-850のメニューモードを変更することで、通話することができます。

メニューモードの設定

1. ディスプレイの表示が変わるまで **モード** キーを押し続けます。
2. 再度、ディスプレイの表示が変わるまで **モード** キーを押し続けます。
3. **コール** キーまたは **▲** キーで、希望のメニュー番号(右表参照)にあわせませす。

 メニュー番号

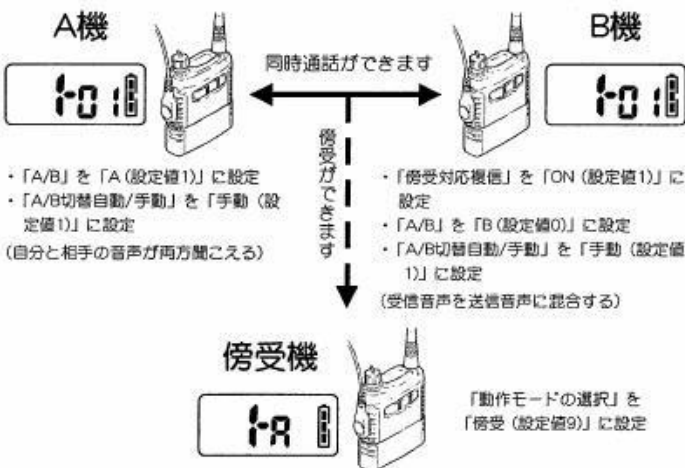
4. **モード** キーを押してから **コール** キーまたは **▲** キーで、設定値番号(下表参照)をあわせませす。
5. **モード** キーを長押しすると、設定値が確定します。
6. 電源を切って、設定操作は終了です。

メニュー番号	機能名称	工場出荷時	設定値
11	A/B	0 (B)	1
12	AB切替自動/手動	0 (自動)	1

傍受

セッモードの設定を変更することにより、1対1同時通話(複信)をしている両者の音声を傍受することができます。

通話(例)



注意

- ・複信で通話している双方が“傍受対応複信”に設定している場合は、ハウリングを起こす可能性があります。
- ・複信通話を行う双方が“傍受対応複信”を“なし”に設定すると、傍受受信機には、複信通信を行っているどちらか片方の音声しか聞こえません。

メニューモードの設定


1. ディスプレイの表示が変わるまで **モード** キーを押し続けます。
2. 再度、ディスプレイの表示が変わるまで **モード** キーを押し続けます。
3. **コール** キーまたは **▲** キーで、希望のメニュー番号(下表参照)にあわせませす。

 メニュー番号
4. **モード** キーを押してから **コール** キーまたは **▲** キーで、設定値番号(下表参照)をあわせませす。
5. **モード** キーを長押しすると、設定値が確定します。
6. 電源を切って、設定操作は終了です。


メニュー番号	機能名称	工場出荷時	設定値(各機別の設定)		
			A機	B機	傍受専用機
04	動作モード	1 (複信)	1	1	9
07	傍受対応複信	0 (OFF)	0	1	0
11	A/B	0 (B)	1	0	0
12	AB切替自動/手動	0 (自動)	1	1	0

送信出力の切り替え(1mW / 10mW)



送信出力の切り替えは18ch(M)仕様のみ行うことができます。

1. ディスプレイの表示が変わるまで  キーを押し続けます。






2. 再度、ディスプレイの表示が変わるまで  キーを押し続けます。




3.  キーまたは  キーで、メニュー番号を“03”にあわせませす。



メニュー番号

4.  キーを押してから  キーまたは  キーで、設定値番号(下表参照)をあわせませす。



設定値	送信出力	交信可能時間
00	1mW	無制限
01	10mW	3分

5.  キーを長押しすると、設定値が確定します。
6. 電源を切って、設定操作は終了です。

キーロックのON, OFF

モードキー、アップキーの動作を受け付けなくすることができます。誤って設定が変わることを防ぎます。

工場出荷では、この機能を“OFF”にしています。“ON”にする場合は、以下の操作を行なってください。

1.  キーを押しながら電源を入れます。
- ディスプレイに“”が表示されます。



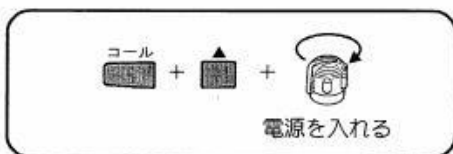
“OFF”にもどす場合は、もう一度同じ操作を行なってください。

オールリセット


間違えて設定を変更してしまった場合や、交信できなくなった場合は“オールリセット”を行ってください。

なお、オールリセットを行うと、全ての設定項目が初期値(工場出荷時の状態)に戻りますので、再度、各種の設定を行ってください。


1.  と  を同時に押しながら電源を入れます。





18ch(M)仕様/9ch(RT)仕様の切り替え

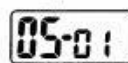
1. ディスプレイの表示が変わるまで  キーを押し続けます。






2. 再度、ディスプレイの表示が変わるまで  キーを押し続けます。




3.  キーまたは  キーで、メニュー番号を“05”にあわせませす。



メニュー番号

4.  キーを押してから  キーまたは  キーで、設定値番号(下表参照)をあわせませす。

設定値	対応チャンネル数
00	9 ch
01	18 ch

5.  キーを長押しすると、設定値が確定します。
6. 電源を切って、設定操作は終了です。

- 工場出荷時では“18ch(M)仕様”に設定してあります。
- 18ch(M)仕様と9ch(RT)仕様とでは、同一チャンネル番号に設定しても通話することはできません。
- 9ch(RT)仕様に切り替えると、送信出力は10mWに切り替わります。
- 単信モードの11ch仕様で通話したいときは、必ず18ch仕様(M)に切り替えてから通話してください。
- VLM-850と他機種*とで通話する場合は、下表を参考に設定値の切り替えをしてください。メニューモードの設定方法は、上記の「18ch(M)仕様/9ch(RT)仕様の切り替え」と前ページの「FDM-350Bと通話する場合」を参考にしてください。

*: 機種は一例です。一例以外の機種と通話する場合は、特約店またはお近くの営業所/サービスセンター宛てにお問い合わせください。

機種	設定値	18ch(M)仕様	9ch(RT)仕様
FDH-200A	00	0	1
FDH-200B	00	1	1
FDH-300A	01	0	1
FDH-300B	01	1	1
FDM-350B	01	1	1
VLM-300RT	00	—	0
VLM-300M	01	—	0

株式会社スタンダード

〒153-8645 東京都目黒区中目黒4-8-8



E C 0 2 2 U 5 0 2

急速充電器 VAC-850 取扱説明書

VAC-850は、当社指定のトランシーバーにFNB-77LI電池パック(リチウムイオン)を取り付けて、約1.5時間の充電を行う急速充電器で、電池パック単体あるいはトランシーバーに取り付けた状態で充電することができます。

構成

チャージャースタンド	1個
ACアダプター	1個
取扱説明書(本書)	1枚

定格

ACアダプター: 入力 AC100V 50/60Hz
出力 DC 16V

充電電流: 約1000mA

使用温度範囲: +5℃ ~ +35℃

チャージャースタンド: 110(幅)x52(高)x118(奥行)mm
(突起物を除く)

お使いになる時のご注意

- VAC-850は充電機能のみで、外部電源としての機能はありません。
- 長時間充電したままにしておくと、電池パックを劣化させることがあります。
- 電池パックを単体で充電する場合には、電極が上面に露出しますので、金属片などが触れてショートすることがないように、十分にご注意ください。
- 充電中、テレビ等に雑音が入る場合、別のコンセントから電源を取ってください。

株式会社スタンダード

〒153-8645 東京都目黒区中目黒 4-8-8



E A B 9 2 X 0 0 0

0107p-0K

安全上のご注意 -必ずお読みください-

⚠ 警告

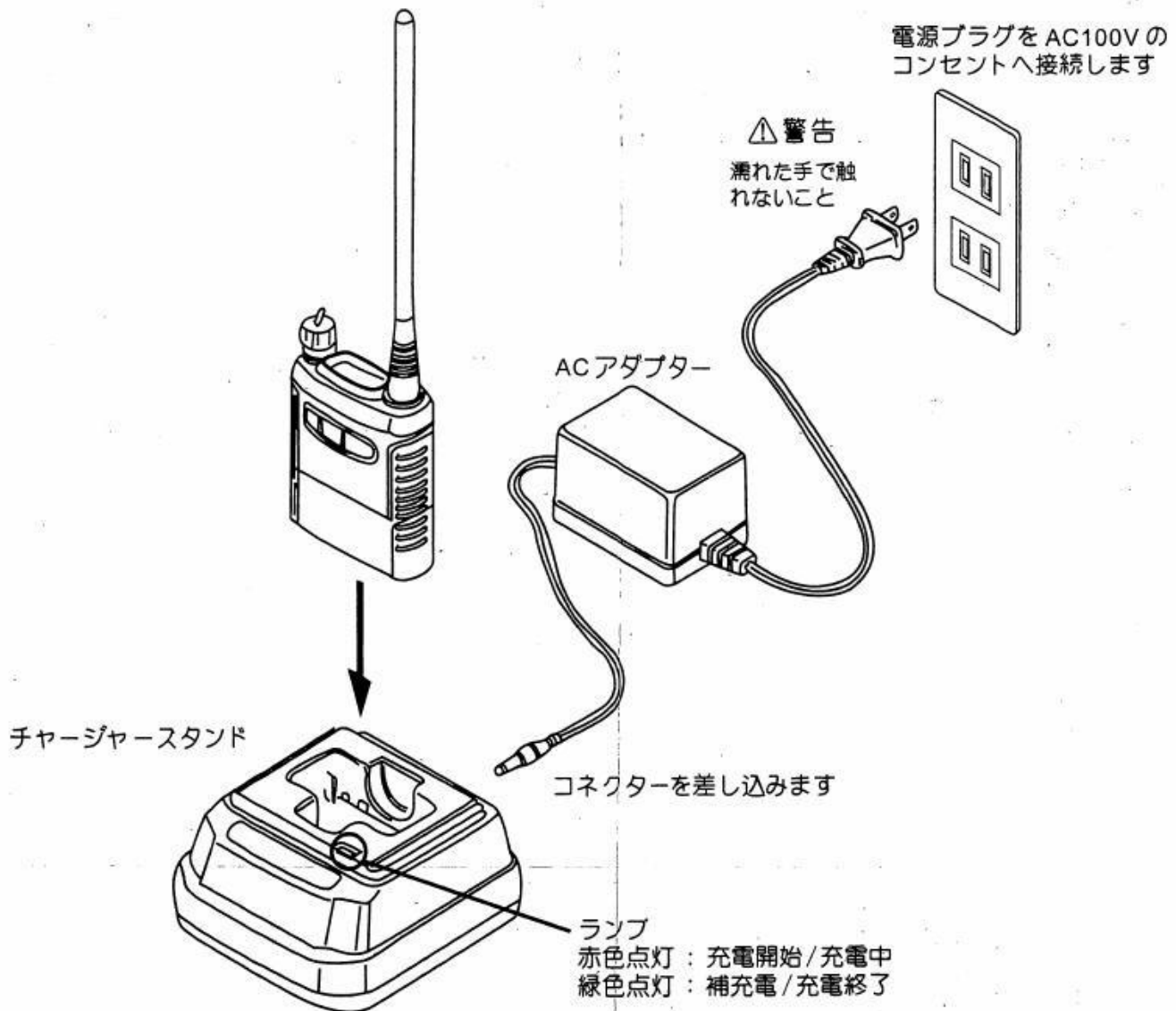
- ⊘ 引火性ガスの発生する場所で使用しない
発火事故の原因になります。
- ⊘ 充電器から煙が出ている、変な臭いがするときは、トランシーバー/電池パックを外し充電器をコンセントから外す
異常状態のまま使用すると、火災や故障の原因になります。
- ⊘ 充電器の端子をはんだ付けやショートをしない
ネックレスやヘアピンなどでショートをしないでください。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。
- ⊘ 付属のACアダプター以外は使用しない
火災や故障の原因になります。

⚠ 注意

- ⊘ 分解や改造をしない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。
- ⊘ 水のかかる場所での使用や、濡れた手で触らない
故障や感電の原因になります。
- ⊘ 火のそばや、炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。
周囲温度が+5℃ ~ +35℃の範囲内にある所で使用してください
- ❗ 指定以外の電池パックを充電しない
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。
- ❗ 電源コードの上に重いものを載せない
電源コードが傷つき、火災や感電などの原因になります。
- ❗ 小さなお子さまの手の届かない場所に保管する
ケガなどの原因になります。
- ❗ シンナーやベンジンなどでケースを拭かない
ケースが汚れたときは、中性洗剤を湿した布で軽く拭いて汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。

使用方法

1. ACアダプターのコネクターをチャージャースタンドのジャックに差し込み、電源プラグをコンセント“AC 100V”に接続します(下図参照).
2. トランシーバーを充電器に差し込むと、赤色のランプが点灯します。
 - 電池パック単体でも充電することができます。
 - 充電するときは、必ずトランシーバーの電源を切ってから充電してください。
3. 充電が終了すると赤色のランプが緑色のランプにかわります。
 - 緑ランプ点灯後は補充電(トリクル充電)がスタートしますので、より完全に充電を行いたいときは継続して1~2時間補充電することをお勧めします。
 - すでに充電されている電池を再度充電すると、瞬時(または短時間)に緑色のランプへかわり補充電に切りかわります。
 - 長時間(数日以上)補充電したままにしておくと、電池パックを劣化させることがあります。
4. 充電が終了したら、ACアダプターをコンセントから外してください。
 - ACアダプターを外すときは、電源コードを引っ張らずに電源プラグを持って抜いてください。

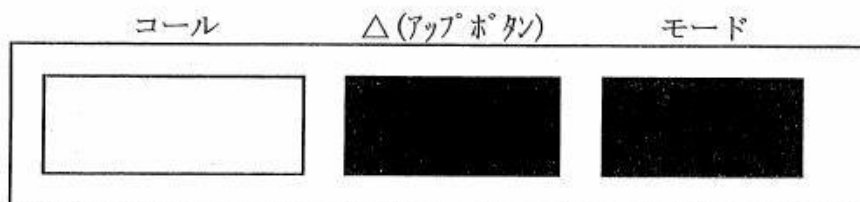


⚠ 電池パック単体で充電するときの注意

電極が上面に露出しますので、金属片などが触れてショートすることがないように、十分にご注意ください。

VLM-850 傍受設定方法

ボタン配置図



A機の設定： ボタンのある面から見て右端にあるモードボタンを2度長押しし、設定モードにします。(1度目の表示は、SL-2と表示、2度目は、01-01と表示します。)
真中のアップボタンを押して07-01を表示させ、モードボタンを短く1度押します。アップボタンを押して、07-00とし、モードボタンを1度長押しして、確定します。
アップボタンを押して、11-00もしくは01と表示させ、モードボタンを1度短く押します。アップボタンを押して11-01と設定し、モードボタンを1度長押しして確定します。
アップボタンを押して、12-00もしくは01と表示させ、モードボタンを1度短く押します。アップボタンを押して12-01と設定し、モードボタンを1度長押しして確定します。
その後、電源を切ります。これでA機の設定完了です。

B機の設定： ボタンのある面から見て右端にあるモードボタンを2度長押しし、設定モードにします。(1度目の表示は、SL-2と表示、2度目は、01-01と表示します。)
アップボタンを押して、07-00または01と表示させ、モードボタンを1度短く押します。アップボタンを押して07-01とし、モードボタンを1度長押しして、確定します。
アップボタンを押して、11-00または01と表示させ、モードボタンを1度短く押します。アップボタンを押して11-00と設定し、モードボタンを1度長押しして確定します。
アップボタンを押して、12-00もしくは01と表示させ、モードボタンを1度短く押します。アップボタンを押して12-01と設定し、モードボタンを1度長押しして確定します。
その後、電源を切ります。これでB機の設定完了です。

傍受機の設定： ボタンのある面から見て右端にあるモードボタンを2度長押しし、設定モードにします。(1度目の表示は、SL-2と表示、2度目は、01-01と表示します。)
アップボタンを押して、04-00または01と表示させ、モードボタンを1度短く押します。アップボタンを押して04-09とし、モードボタンを1度長押しして、確定します。
その後、電源を切ります。これで傍受機の設定完了です。

オールリセット： コールキーとアップキー(Δ)を同時に押しながら電源を立ち上げます。

